

平成28年度 事業計画書

平成28年度において実施する本協会事業の概要は次のとおりである。

1. 広報事業

(1) 社会貢献広報事業

宝くじの社会貢献広報事業として、公益法人等が行う社会福祉、社会教育、青少年育成、安心安全、その他公益の増進に寄与する事業に対し、本年度も総額27億円（消費税を含む。）の助成を行い、宝くじのイメージアップを図るとともに、その公益性を広報し、地域社会の健全な発展、住民福祉の向上に寄与する。

(2) 宝くじドリーム館の管理運営

宝くじの恒常的な普及宣伝、情報発信基地としての宝くじドリーム館（東京及び大阪の2カ所）において、日本の宝くじの歴史（江戸時代の富くじからの宝くじ券などを紹介）、宝くじの収益が全国の街づくりに役立っていることを紹介するコーナー、宝くじの発売スケジュールや過去1年間の当せん番号が検索できるコーナーなどを常時設置し、宝くじをより深く理解していただくとともに、宝くじが地方公共団体の貴重な財源として、全国の街づくりや住民生活の向上に果たしていること等宝くじの公益性、役割等について積極的な広報を行っているところであるが、本年度も積極的に広報に努める。

また、本年度においても、宝くじ抽せん会（ナンバーズ、ロト6及びロト7等年間約490回）の場の提供を行うとともに、昼休み時等に、それぞれランチタイムコンサート（年11回）、クラシックコンサート（年11回）などの催し物を実施し、親しみの持てる施設として入館者の増加に努める。

(3) その他広報事業

社会貢献広報事業の一環としてカレンダーを作成し、広く国民に配布するとともに、本年度においても、宝くじの役割、公益性等を広く国民に広報する。

2. 調査研究事業

(1) 宝くじに関する世論調査の実施

宝くじに関する消費者の意識、購入実態、宝くじに対する評価等を把握し、発売団体等の今後の宝くじの企画運営に資するため、3年ごとに世論調査を実施しているが、本年度は、当該調査の実施年に当たることから、全国の満18歳以上の個人約1万人を対象として世論調査を実施する。

(2) 宝くじに関する調査及び資料作成

発売団体等の宝くじの企画運営等の参考に資するため、宝くじに関する各種調査及び資料の作成を行うこととしているところであるが、本年度においては、諸外国における宝くじの状況等を調査し、発売団体等に情報提供する。

3. 世界富くじ協会（WLA）、アジア太平洋富くじ協会（APLA）との連絡協調

発売団体の依頼に基づき正会員となっている世界富くじ協会及びその傘下組織であるアジア・太平洋富くじ協会（現在、当協会は、この理事となっている。）との連絡協調を図り、もって我が国宝くじの発展に寄与することとしているが、本年度は、アジア太平洋富くじ協会の常任理事会及びセミナーがミャンマーで、常任理事会及び総会がシンガポールで開催される予定となっている。また、世界富くじ協会の総会がアジア太平洋富くじ協会の総会と同時期にシンガポールで開催される予定となっている。